

令和4年8月3日～4日前線による荒川の 出水状況(速報)

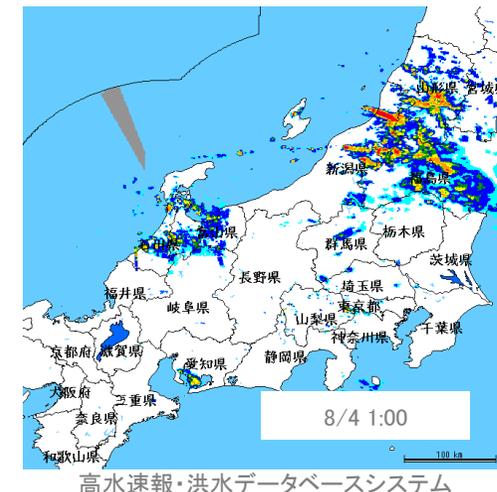
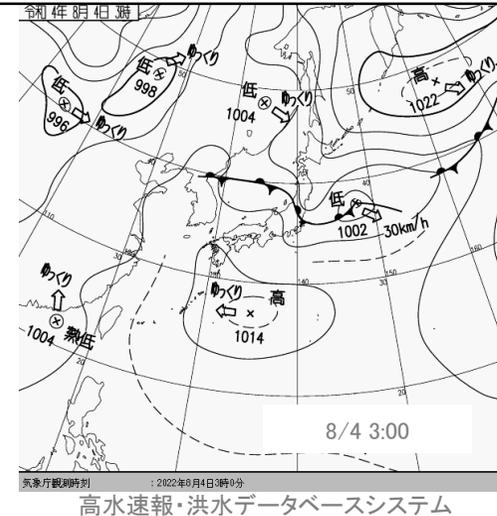
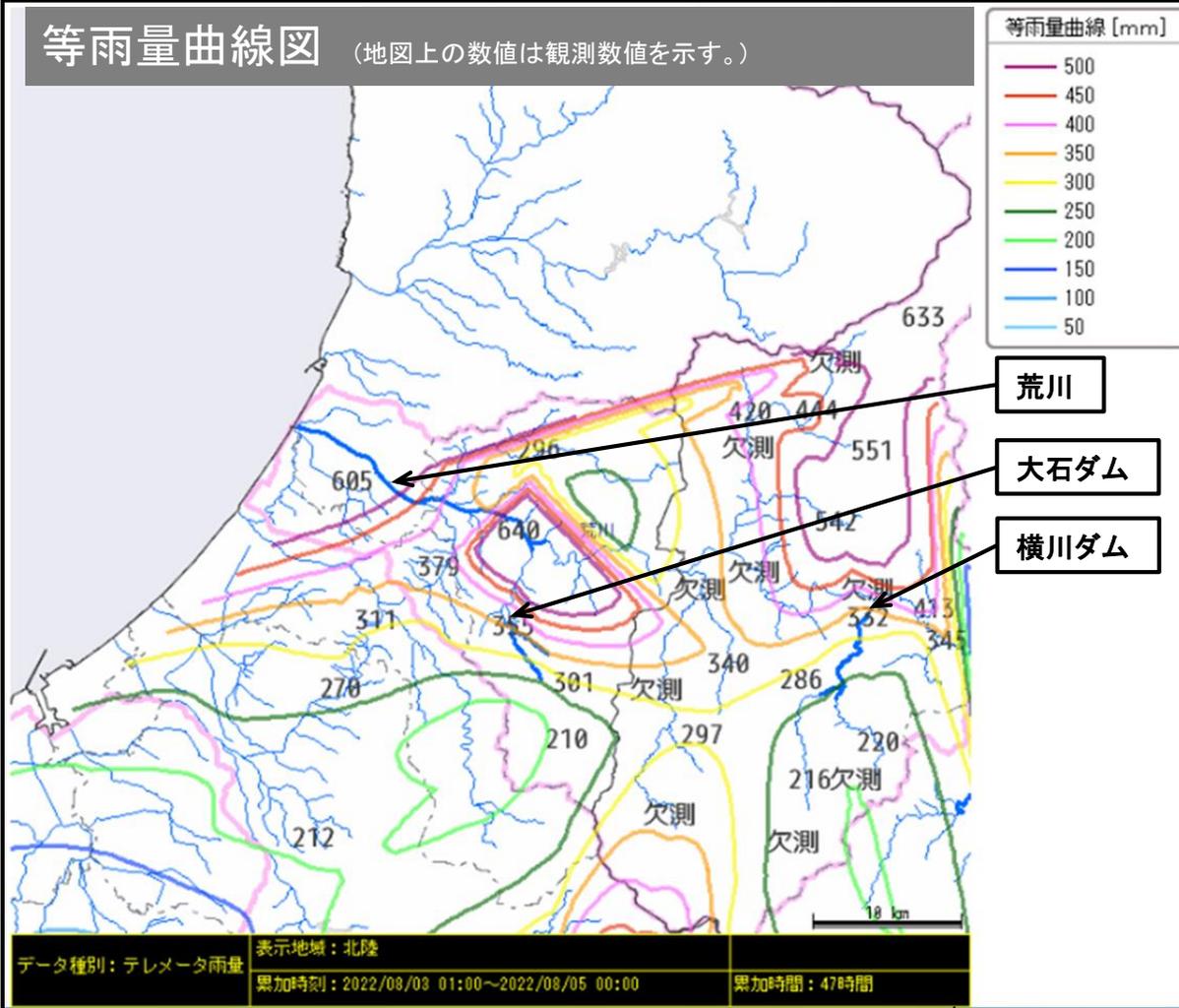
令和4年9月16日
国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

速報のため、数値等は今後変わることがあります。

1. 気象の状況

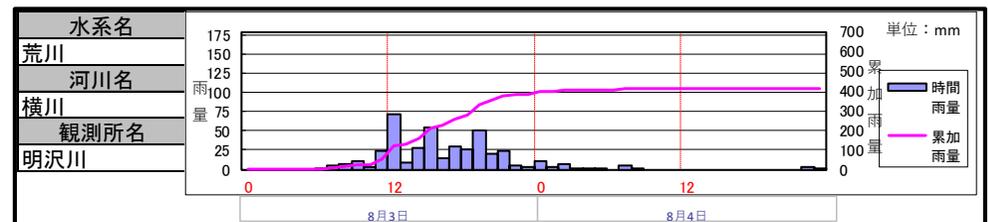
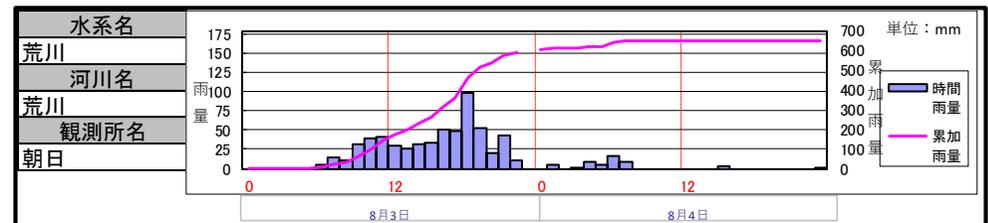
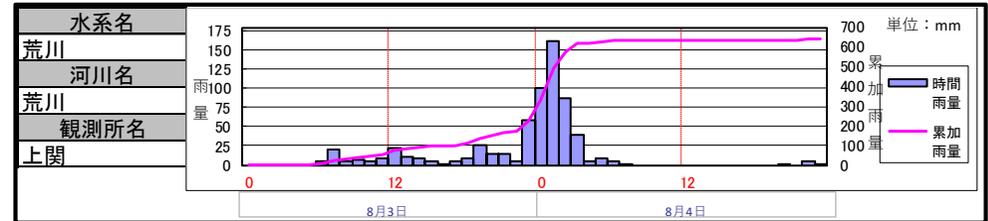
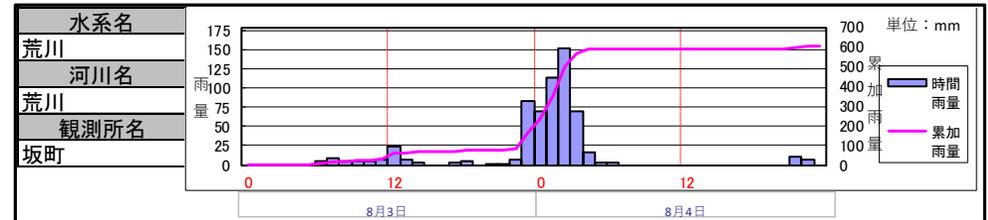
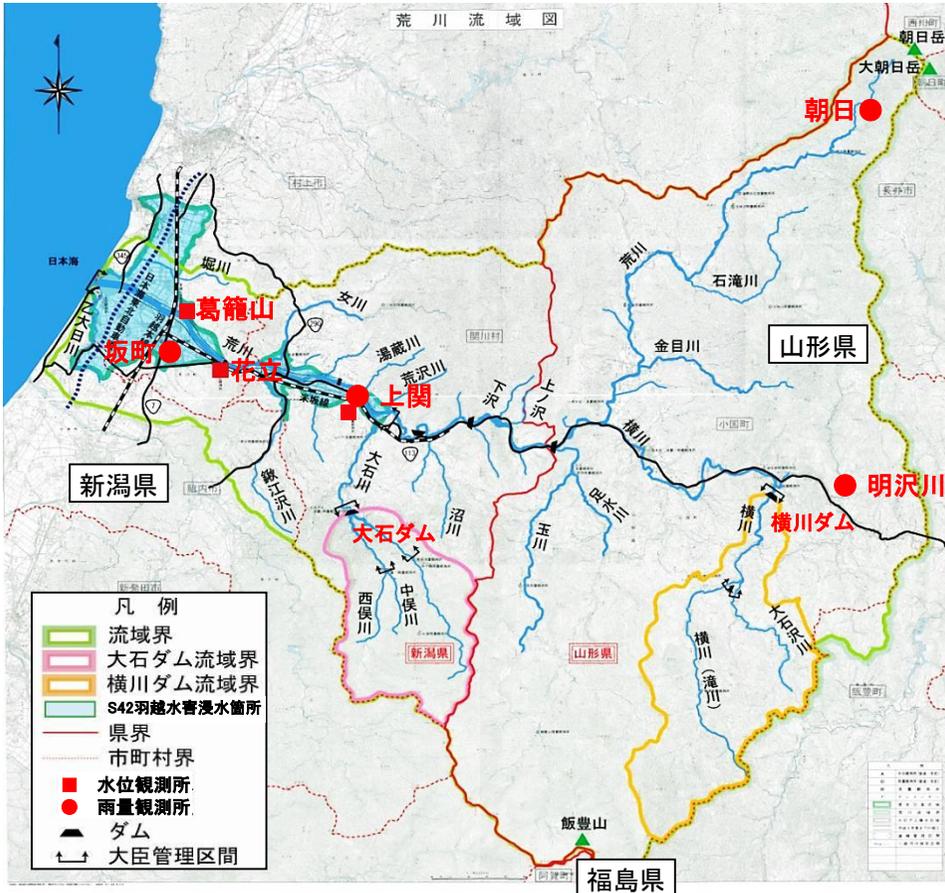
8月3日から4日朝にかけて、東北地方から北陸地方に停滞した前線による線状降水帯の活動が活発となり、断続的に非常に激しい雨が降り大雨となりました。荒川流域では、3日朝から全域において激しい雨が降り続き、新潟県岩船地域及び山形県西置賜地域では、大雨特別警報が発表されました。

等雨量曲線図 (地図上の数値は観測数値を示す。)

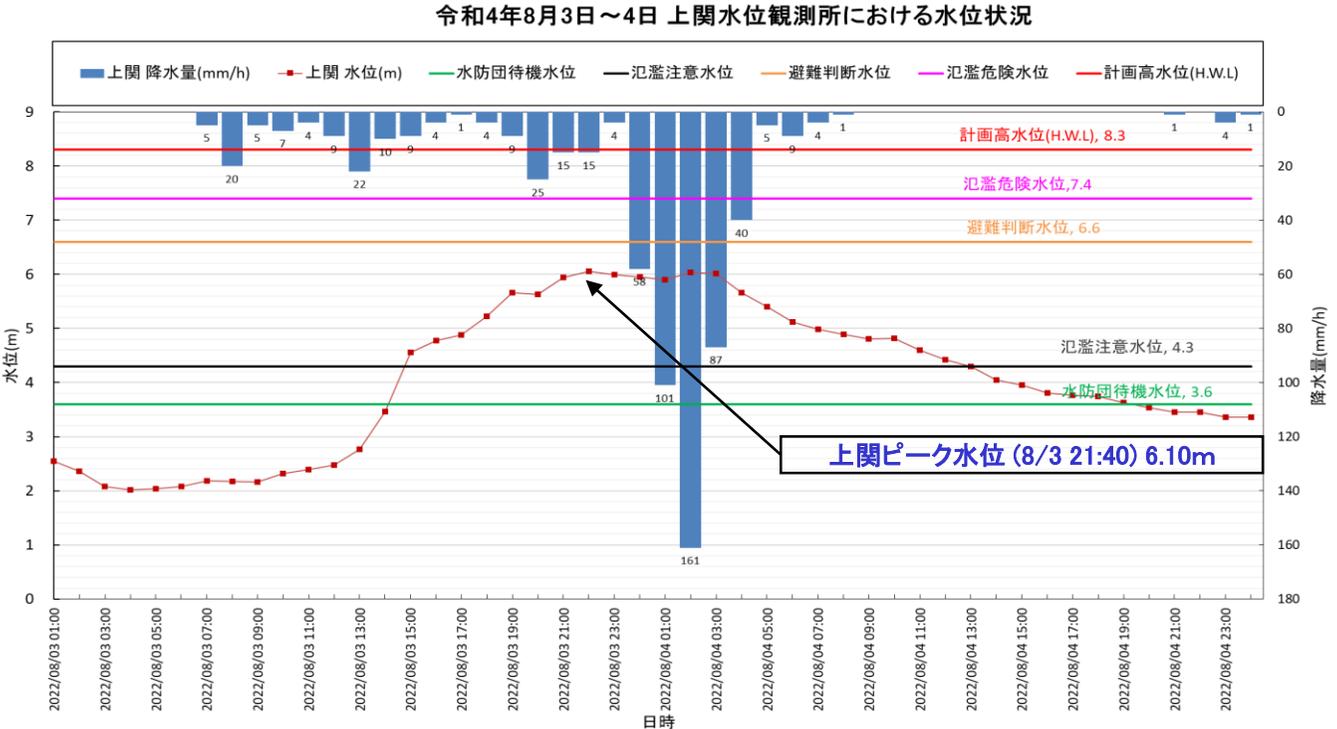


2. 降水量の状況

荒川流域では、全域において8月3日朝から雨が激しくなり、最大24時間累加雨量は多いところで **上関雨**
 量観測所 ^{あさひ} 629mm、朝日雨量観測所 ^{さかまち} 633mm、坂町雨量観測所 587mm に達しました。



3-1. 出水の状況(上関^{かみせき}水位観測所)



【過去の水位記録(上関観測所)】
※S45観測開始以降

順位	年月日	水位 (m)
1	R4.8.3	6.10
2	H16.7.17	5.60
3	H7.7.11	4.98
4	H17.6.27	4.98
5	H23.6.23	4.95
6	S53.6.26	4.79
7	S56.6.22	4.71
8	H29.8.25	4.69
9	H19.6.29	4.66
10	H9.7.16	4.64

観測史上第1位



上関水位観測所 平常時

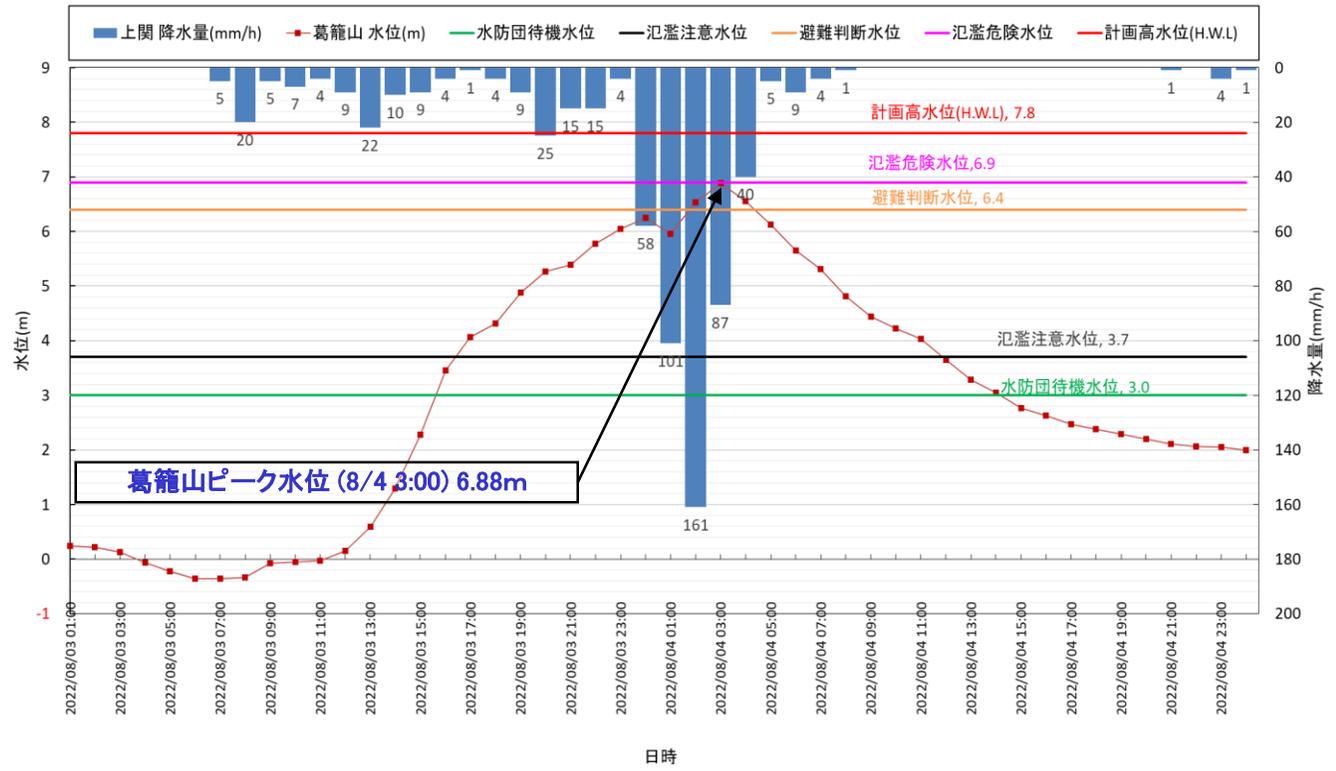


上関水位観測所 3日18時00分

3-2. 出水の状況(葛籠山水位観測所)



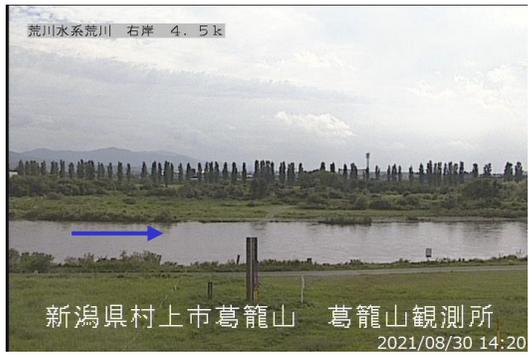
令和4年8月3日～4日 葛籠山水位観測所における水位状況



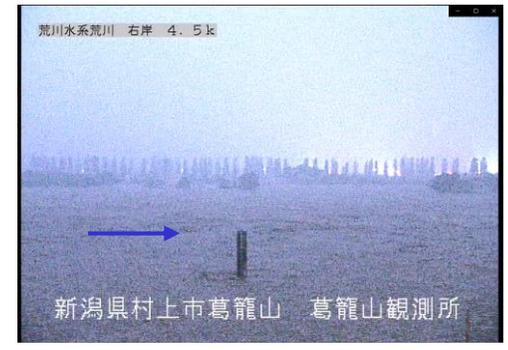
【過去の水位記録(葛籠山観測所)】
※S45観測開始以降

順位	年月日	水位 (m)
1	R4.8.4	6.88
2	H16.7.17	6.10
3	H23.6.23	5.59
4	S53.6.26	5.27
5	S49.7.10	4.93
6	S56.6.22	4.81
7	H7.7.11	4.64
8	S47.3.20	4.57
9	H19.6.29	4.54
10	H26.7.10	4.49

観測史上第1位
(氾濫危険水位まであと2cm)

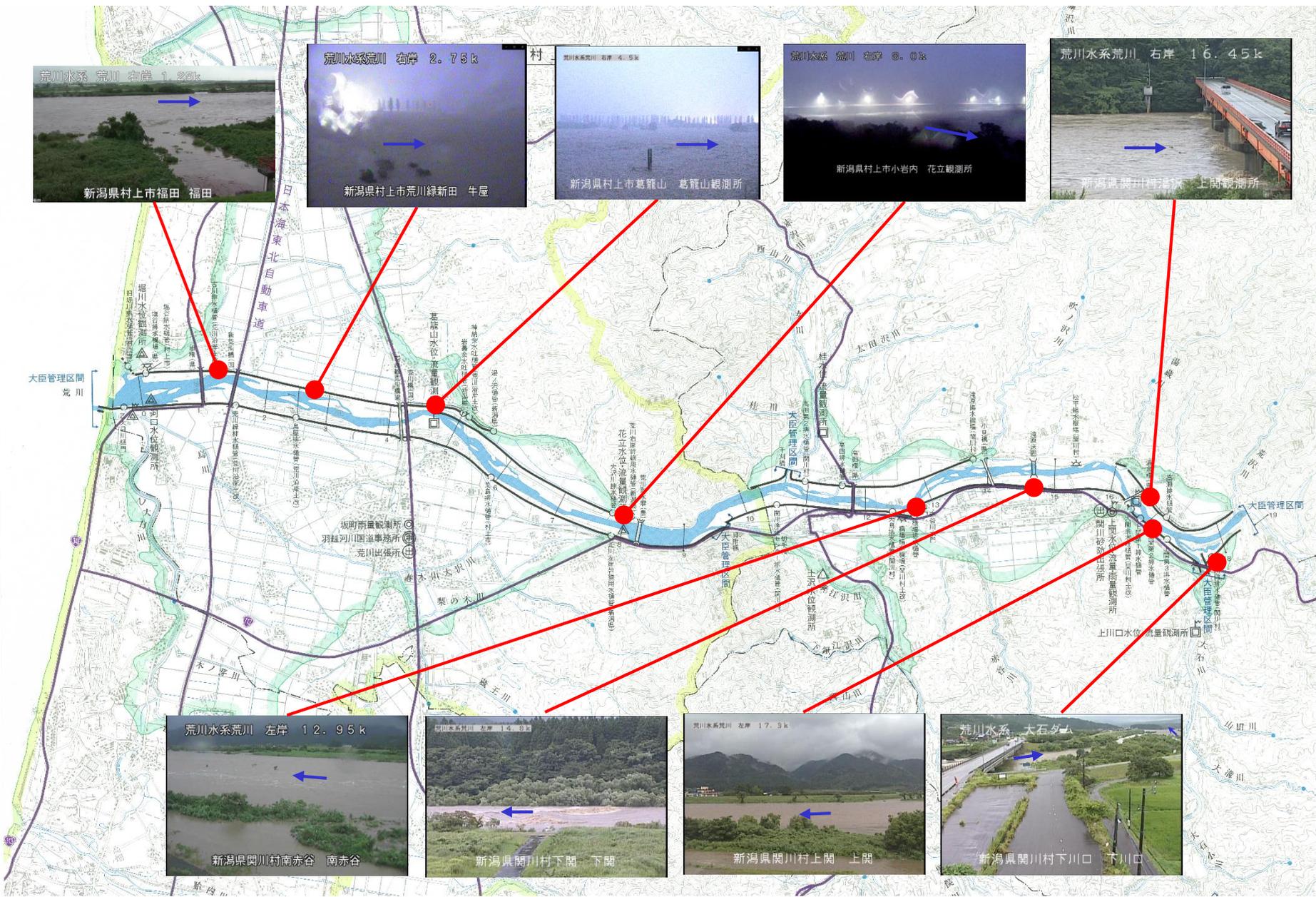


葛籠山水位観測所 平常時

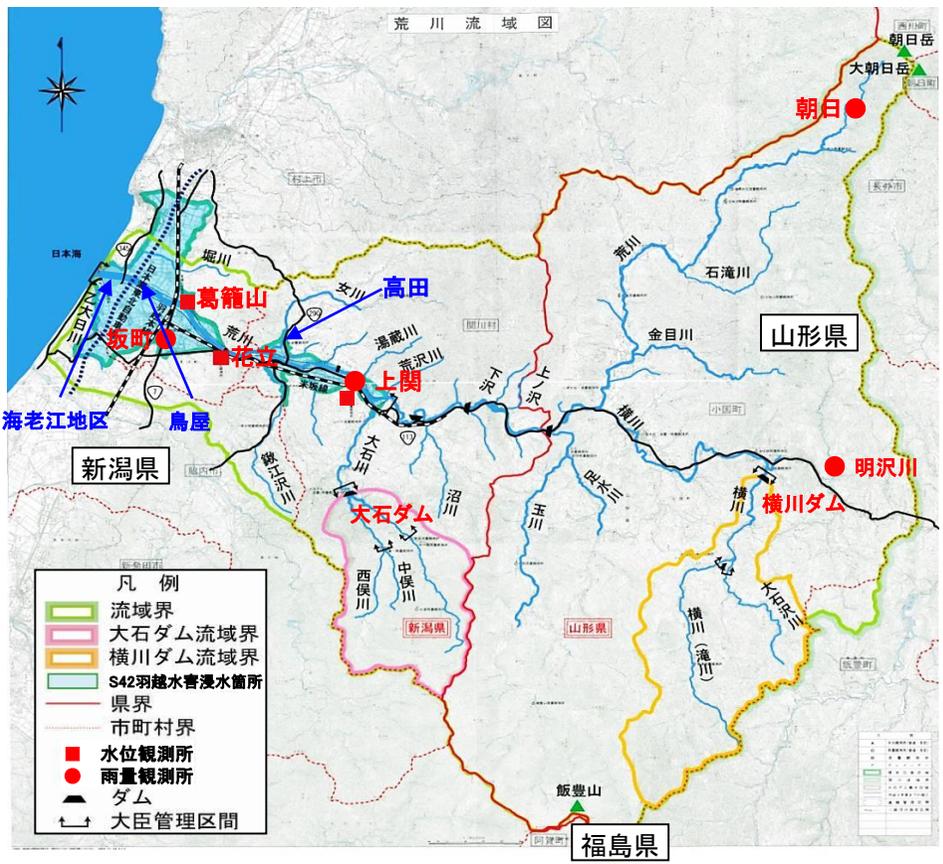


葛籠山水位観測所 4日3時00分

4. 現地状況 (CCTVカメラ映像)



5. 事務所出水対応



- 事務所体制状況
- 8/3
- 14:10 注意体制 発令
 - 14:40 警戒体制 移行
 - 21:00 非常体制 移行
- 8/4
- 15:30 注意体制 移行

- 排水作業
- 関川村高田地先 高田排水樋管 排水ポンプ車3台
 - 村上市鳥屋地先 鳥屋排水樋管 排水ポンプ車1台
 - 村上市海老江地先 乙大日川樋門 排水ポンプ車3台



8/3 L2.5k 鳥屋排水樋管 排水状況



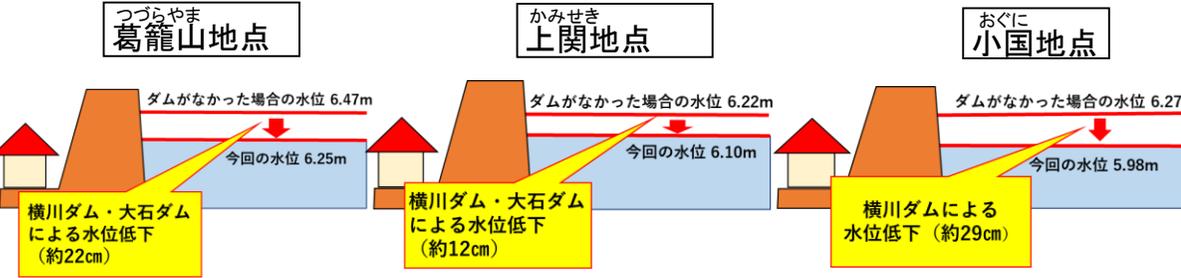
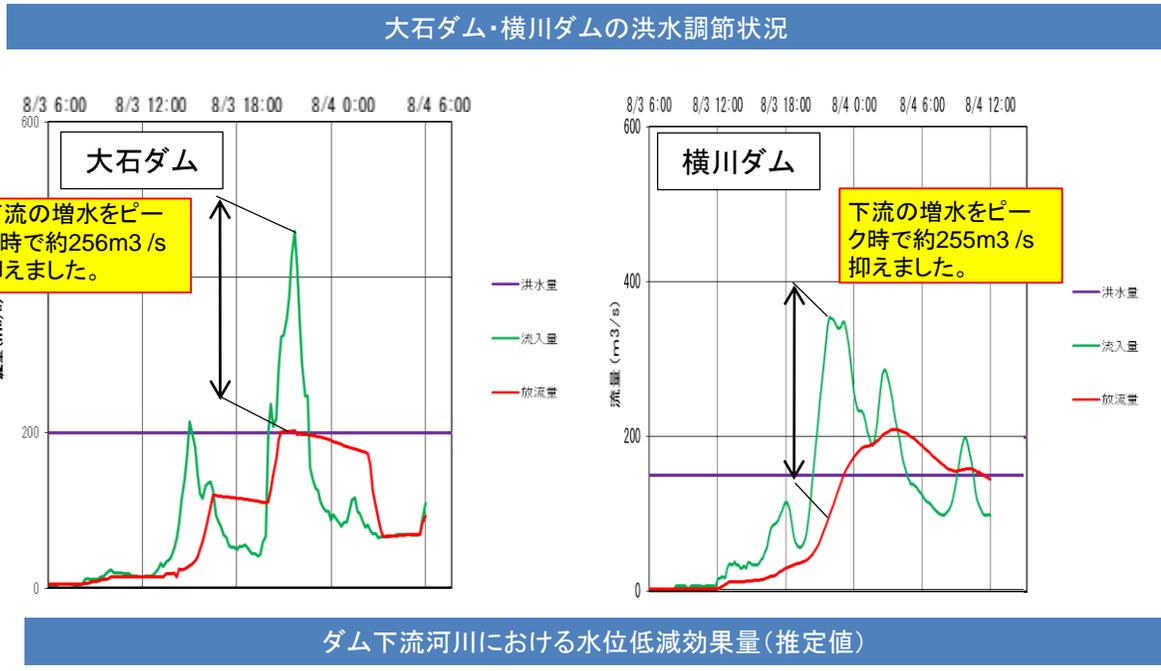
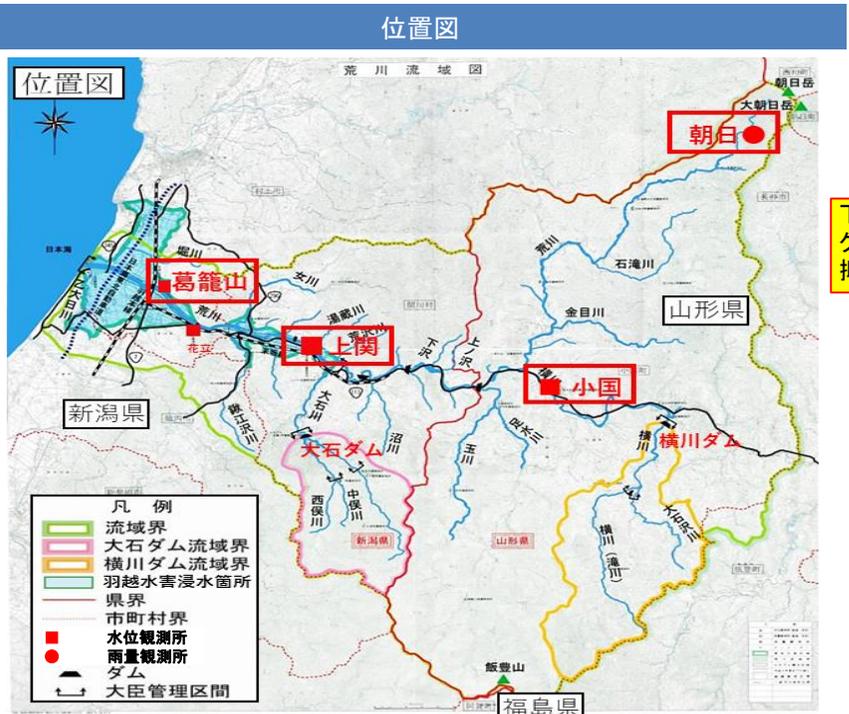
8/4 L0k 乙大日川排水樋管 排水状況



8/4 R11.75k 高田排水樋管 排水状況

6. 大石ダム・横川ダムの洪水調節効果(令和4年8月3日からの大雨)

- 荒川流域の朝日雨量観測所では最大24時間累加雨量が633mmを記録し、葛籠山水位観測所において避難判断水位を超過しました。
- 大石ダムでは最大流入量約459m³/sの内、約256m³/sを貯留する洪水調節を行いました。
- 横川ダムでは最大流入量約353m³/sの内、約255m³/sを貯留する洪水調節を行いました。
- 大石ダムと横川ダムの洪水調節により、葛籠山水位観測所の最高水位を約22cm低下、上関水位観測所の最高水位を約12cm低下、横川ダムの洪水調節により、小国水位観測所の最高水位を約29cm低下させたことが推定されます。



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

7. 荒川治水事業の効果(令和4年8月3日からの大雨)

- 荒川流域では、朝日雨量観測所において累加雨量が633mm (8/3~4日:最大24時間累加雨量)を記録し、葛籠山水位観測所において避難判断水位を超過しました。
- 大石ダムや横川ダムにおける洪水調節、荒川下流域での河道掘削、樹木伐採の実施により、今回の出水では、^{とりや}村上市鳥屋地先(荒川 左岸1.0k)で、ダムがなかった場合と比較し水位を約11cm低下、河道掘削をしなかった場合と比較し水位を約36cm低下させることができました。
- R4.8の大雨は、2日間雨量では、既往降雨量で第2位を記録し、S41.7月と同等規模の大雨となりましたが、洪水調節施設や堤防整備、河道掘削などの効果により浸水被害は生じませんでした。



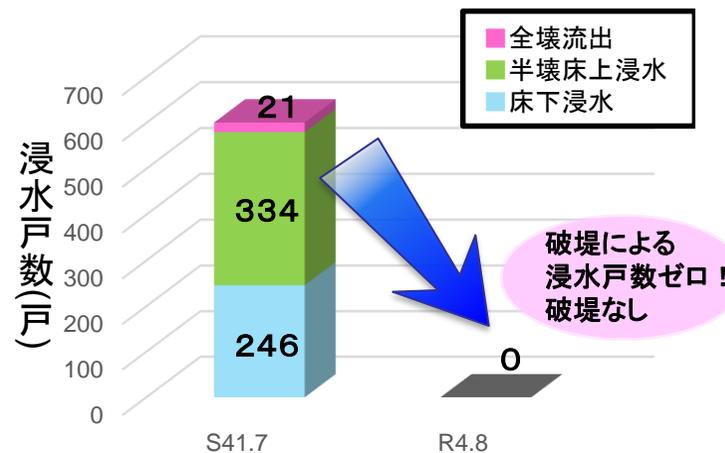
横川ダムの貯留状況



荒川1.0k 横断面図



順位	年月日	花立上流流域平均24h雨量 (mm/24h)
1	S42.8.28	431.3
2	R4.8.3	354.4
3	S41.7.16	248.8
4	H23.6.23	197.8
5	S53.6.26	183.8



<本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。>